

第33回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成21年11月25－27日

東京ビッグサイト(産学官ビジネスフェア2009展示会場)

2. 来訪者：88名

3. 説明概要：

産学官ビジネスフェア2009(於東京ビッグサイト)の原子力機構展示エリアにおいて、来訪者に資料を配付し、ITER機構職員募集及び登録の案内を行った。(安東俊郎 ITER協力調整SGL、核融合研究開発部門職員)

4. 主なQ&A

Q1:パリからどれくらいかかるでしょうか？

A1:ITERサイトがあるカダラッシュの近く(約40 km)に観光地で有名なエクサンプロバンスがありますが、パリからTGVに乗り、約3時間でエクサンプロバンスに着きます。

Q2:日本からの応募者はどれくらいありますか？

A2: 2006年12月にITER機構職員公募が開始されて以来、これまでに公募されたポストの数は合計444になります。これに対して、日本人の応募数は延べ315件(注:ひとりで複数のポストに応募可)となっています。

Q3:ITER機構の仕事には、フランス語が必要ですか？

A3:ITER機構における公用語は英語ですので、フランス語は必須ではありません。職種によっては、フランス政府当局や地元との折衝が必要となり、フランス語が必要となる場合もあります。この場合は、Job Descriptionにその旨が要件として記載されます。

Q4:ITER機構で働いている日本人はどれくらいいますか？

A4:ITER機構の日本人職員は、現在、専門職員が22人、支援職員が6人です。



産学官ビジネスフェア 2009 における展示エリアの様子